

# 家族研究關係の張家山漢簡『二年律令』文獻目錄

小寺 敦

※ 文獻リスト作成の原則

- ①『二年律令』を利用した家族研究を中心とし、それから離れるものとはらない。
- ②張家山漢簡研究に限り、①を進める上で必要な分野のもの（釋文等）も集める。
- ③『奏讞書』關係は、それだけで膨大な分量になるのでとらない。

〔附記〕本目錄は、平成 20 年度科學研究費補助金（基盤研究（B））「新出土資料を通してみた古代東アジア世界の諸相—漢字文化圏の中の地域性—」（研究代表者：谷中信一）による研究成果である。

## ●發掘報告書

- ・荊州地區博物館「江陵張家山三座漢墓出土大批竹簡」（『文物』1985-1、北京、1985年1月）
- ・張家山二四七號漢墓竹簡整理小組「江陵張家山漢簡概述」（『文物』1985-1、北京、1985年1月）
- ・荊州地區博物館「江陵張家山兩座漢墓出土大批竹簡」（『文物』1992-9、北京、1992年9月）

## ●圖版・釋文（資料全文もしくはそれを目指しているもの）

- ・張家山二四七號漢墓竹簡整理小組編著『張家山漢墓竹簡〔二四七號墓〕』（文物出版社、北京、2001年11月）
- ・張家山二四七號漢墓竹簡整理小組編著『張家山漢簡〔二四七號墓〕（釋文修訂本）』（文物出版社、北京、2006年5月）
- ・彭浩・陳偉・〔日〕工藤元男主編『二年律令與奏讞書—張家山二四七號漢墓出土法律文獻釋讀—』（上海古籍出版社、上海、2007年8月）
- ・早稻田大學簡帛研究會「張家山第二四七號漢墓竹簡譯注」（一）～（五）（『早稻田大學長江流域文化研究所年報』1～5、東京、2002年7月～2007年3月）
- ・專修大學『二年律令』研究會「張家山漢簡『二年律令』譯注」（一）～（一〇）（『專修史學』35～44、東京、2003年11月～2008年3月）
- ・三國時代出土文字資料研究班「江陵張家山漢墓出土「二年律令」譯注稿」（一）～（三）（『東方學報』京都 76～78、京都、2004年3月、2005年3月、2006年3月）
- ・富谷至編『江陵張家山二四七號墓出土漢律令の研究—譯注篇—』（京都大學人文科學研

究所研究報告、朋友書店、京都、2006年10月)

●釋文(部分)・資料論

- ・陳耀鈞・閻頌「江陵張家山漢墓的年代及相關問題」(『考古』1985-12、北京、1985年12月)
- ・徐萃芳「中國漢簡的發見と研究」(大庭脩編『漢簡研究の現状と展望—漢簡研究國際シンポジウム'92報告書—』、關西大學出版部、吹田、1993年12月)
- ・彭浩「湖北江陵出土前漢簡牘概説」(大庭脩編『漢簡研究の現状と展望—漢簡研究國際シンポジウム'92報告書—』(前掲書))
- ・李學勤「江陵張家山二四七號漢律竹簡について」(大庭脩編『漢簡研究の現状と展望—漢簡研究國際シンポジウム'92報告書—』(前掲書)、「論張家山二四七號墓漢律竹簡」、同『簡帛佚籍與學術史』、時報文化出版企業有限公司、臺北、1994年12月、江西教育出版社、南昌、2001年9月所收)
- ・李學勤「江陵張家山漢簡概述」(同『簡帛佚籍與學術史』、時報文化出版企業有限公司、臺北、1994年12月、江西教育出版社、南昌、2001年9月所收)
- ・張建國「試析漢初「約法三章」的法律効力—兼談「二年律令」與蕭何的關係—」(『法學研究』1996-1、北京、1996年1月、『帝政時代の中國法』、法律出版社、北京、1999年8月所收)
- ・陳偉「張家山漢簡雜識」(『第一屆中國語言文字國際學術研討會論文』、香港大學中文系、香港、2002年3月、『語言文字學研究』、中國社會科學出版社、北京、2005年12月所收)
- ・劉釗「『張家山漢墓竹簡』釋文注釋商榷(一)」(『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2002年2月1日)
- ・李學勤「試説張家山漢簡『史律』」(『文物』2002-4、北京、2002年4月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月)
- ・李均明「中國古代法典的重大發現—談江陵張家山二四七號漢墓出土「二年律令」簡—」(『中國文物報』2002年5月3日)
- ・李學勤「張家山漢簡研究的幾個問題」(『鄭州大學學報』(哲學社會科學版)35-3、鄭州、2002年5月)
- ・高敏「漫談「張家山漢墓竹簡令」的主要價值與作用」(『鄭州大學學報』(哲學社會科學版)35-3、鄭州、2002年5月)
- ・彭浩「讀張家山漢簡『行書律』」(『文物』2002-9、北京、2002年9月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月)
- ・崔永東「張家山出土漢律的特色」(『政法論壇(中國政法大學學報)』2002-5、北京、2002年10月)
- ・王偉「張家山漢簡『二年律令』雜考」(『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2003年1月21日)

- 劉釗「『張家山漢墓竹簡』釋文注釋商榷（一）」（『古籍整理研究學刊』2003-3、長春、2003年5月）
- 張家山漢簡研讀班「張家山漢簡『二年律令』校讀記」（上）（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2003年4月14日）
- 王貴元「張家山漢簡字詞釋讀考辨」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2003年6月3日）
- 射桂華·沈頌金·鄔文玲「二十世紀簡帛的發現與研究」（『歷史研究』2003-6、北京、2003年12月）
- 高敏「張家山漢墓竹簡『二年律令』中諸律的制作年代試探—讀『張家山漢墓竹簡』札記四一」（『史學月刊』2003-9、鄭州、2003年9月、『秦漢魏晉南北朝史論考』、中國社會科學出版社、北京、2004年7月）
- 何有祖「『二年律令』零釋——張家山漢簡『二年律令』研讀課札記之一一」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2003年10月17日）
- 何有祖「『二年律令』置後律札記—張家山漢簡『二年律令』研讀課札記之二一」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2003年10月21日）
- 何有祖「『二年律令』零釋二—張家山漢簡『二年律令』研讀課札記之三一」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2003年10月23日）
- 廣瀨薰雄「張家山漢簡『二年律令』四七四—四八七號簡譯注」（武漢大學研討班文稿、武漢、2003年10月）
- 邢義田「張家山漢簡『二年律令』讀記」（『燕京學報』新15、北京大學出版社、北京、2003年11月）
- 何有祖「『二年律令』金布律—張家山漢簡『二年律令』研讀課札記之四一」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2003年12月1日）
- 王偉「張家山漢簡『二年律令』編聯初探—以竹簡出土位置為綫索—」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2003年12月21日、『簡帛』1、上海古籍出版社、上海、2006年10月所収）
- 張俊民「『二年律令』與甘肅漢簡—讀張家山漢簡『二年律令』札記一」（『隴右文博』2004-2、蘭州、2004年、『簡帛研究網』2004年6月22日）
- 周波「『二年律令』釋文與注釋商榷」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2004年5月29日、『楚地簡帛思想研究』（二）、湖北教育出版社、武漢、2005年4月）
- 張俊民「『二年律令』與甘肅漢簡—讀『二年律令』札記一」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2004年6月22日）
- 王偉「張家山漢簡『二年律令』釋文」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2004年6月30日）
- 彭浩「談『二年律令』中幾種律的分類與編連」（『出土文獻研究』6、上海古籍出版社、上海、2004年12月）
- 李力「關於『二年律令』簡93—98之歸屬問題的補充意見」（『出土文獻研究』6、上海古籍出版社、上海、2004年12月、『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2005年8月24日（修訂本））

- 曹旅寧「張家山 247 號墓漢律製作時代新考」（中國文物研究所編『出土文獻研究』6、上海古籍出版社、上海、2004 年 12 月、曹旅寧『張家山漢律研究』、中華書局、北京、2005 年 8 月所收）
- 何有祖「張家山漢簡釋文與注釋商補」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2004 年 12 月 26 日）
- 張建國「張家山漢簡『具律』121 簡排序辨正一兼析相關各條律條文一」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2005 年 1 月 16 日）
- 廣瀨薰雄「『二年律令』史律札記」（『楚地簡帛思想研究』（二）、湖北教育出版社、武漢、2005 年 4 月、『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006 年 9 月 12 日）
- 王樹金「『二年律令』法律內容制定年代考一兼談「二年」的時間問題一」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2005 年 4 月 24 日）
- 周波「從三種律文的頒行年代談『二年律令』的「二年」問題」（『二年律令錢·田·口市·賜·金布·秩律諸篇集釋』、武漢大學碩士學位論文、2005 年 5 月、『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2005 年 5 月 9 日）
- 張家山漢簡研讀班「張家山漢簡『二年律令』校讀記」（『簡帛研究二〇〇二·二〇〇三』、廣西師範大學出版社、桂林、2005 年 6 月）
- 射桂華「張家山漢墓竹簡 [二四七號墓] 校讀舉例」（『簡帛研究二〇〇二·二〇〇三』、廣西師範大學出版社、桂林、2005 年 6 月）
- 彭浩「讀張家山漢簡「行書律」」（『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2005 年 11 月 2 日）
- 鄔文玲「張家山漢簡『二年律令』釋文補遺」（『簡帛研究二〇〇四』、廣西師範大學出版社、桂林、2006 年 10 月）
- 張顯成「簡帛書籍標題研究」（『簡帛研究二〇〇四』、廣西師範大學出版社、桂林、2006 年 10 月）
- 陳偉「『二年律令』·『奏讞書』校讀」（『簡帛』1、上海古籍出版社、上海、2006 年 10 月）
- 何有祖「讀『二年律令』札記」（『楚地簡帛思想研究』（二）、湖北教育出版社、武漢、2005 年 4 月）
- 邢義田「張家山漢簡『二年律令』讀記（訂補稿·連載一）」（『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006 年 1 月 14 日）
- 陳偉「讀『二年律令』札記」（『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006 年 1 月 17 日）
- 邢義田「張家山漢簡『二年律令』讀記（訂補稿·連載二）」（『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006 年 1 月 17 日）
- 朱紅林「張家山漢簡釋義」（『考古』2006-6、北京、2006 年 6 月）
- 陳偉「張家山漢簡雜識」（『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006 年 6 月 21 日）
- 李力「關於『二年律令』題名之再研究」（『簡帛研究二〇〇四』、廣西師範大學出版社、

- 桂林、2006年10月)
- 鄔文玲「張家山漢簡『二年律令』釋文補遺」(『簡帛研究二〇〇四』、廣西師範大學出版社、桂林、2006年10月)
  - 初世賓「『二年律令』賊律芻議」(『簡帛研究二〇〇四』、廣西師範大學出版社、桂林、2006年10月)
  - 何有祖「略談《二年律令》幾處拼接上的問題」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006年11月19日)
  - 彭浩「談『二年律令』87號簡的復原」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006年11月19日)
  - 孟蓬生「張家山漢簡「去(盍)」字補釋」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2007年1月20日)
  - 郝慧芳「張家山漢簡用字證『說文』釋義例」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2007年3月20日)
  - 曹旅寧「『史律』中有關踐更規定的再探討」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2007年5月12日)
  - 何有祖「『二年律令』512號簡所補殘片小議」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2007年9月11日)
  - 陳偉武「秦漢簡牘考釋拾遺」(『簡帛』2、上海古籍出版社、上海、2007年11月)
  - 魯家亮「關於『二年律令』具律90-92號簡等三條律文的關係——」(『簡帛』2、上海古籍出版社、上海、2007年11月)
  - 梁靜「『二年律令』第265號簡小議」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2007年12月18日)
  - 曹旅寧「『二年律令』賊律「船人渡人而流殺」條中「紐系」解」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2008年1月12日)
  - 曹旅寧「『二年律令』賊律「口來誘及爲間者、磔。亡之口」的編聯歸屬」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2008年1月20日)
  - 曹旅寧「『二年律令』盜律「群盜及亡從群盜」條中「投書」·「懸人書」·「矯相」解」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2008年1月26日)
  - 曹旅寧「『二年律令』金布律「諸冗作縣官及徒隸」條中「八稷」、「七稷」解」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2008年2月4日)
  - 曹旅寧「『二年律令』具律「庶人以上」條中「自尚」解」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2008年2月23日)
  - 蔡丹「張家山漢簡札記一則」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2008年5月24日)
  - 彭浩「談『二年律令』中幾種律的分類與編連」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2008年8月26日)
  - 山田勝芳「張家山第二四七號漢墓竹簡「二年律令」と秦漢史研究」(『日本秦漢史學會會報』3、東京、2002年10月)

- ・重近啓樹「『張家山漢墓竹簡 [二四七號墓]』の刊行によせて」(『日本秦漢史學會會報』3、東京、2002年10月)
- ・矢野千載「張家山竹簡の書法に関する一考察」(『日本文學會誌』15、岩手郡滝沢村、2003年3月)
- ・宮宅潔「張家山漢簡『二年律令』解題」(『東方學報』京都76、京都、2004年3月)
- ・森谷一樹「張家山漢簡・秩律初探」(『洛北史學』6、京都、2004年)
- ・水間大輔「地下からの贈り物—簡牘資料の價值と研究狀況(5)前漢前半期の墓葬から出土した法制史料 銀雀山漢簡・張家山漢簡—」(『東方』279、東京、2004年5月)
- ・富谷至「江陵張家山二四七號墓出土竹簡—とくに「二年律令」に關して—」(『木簡研究』27、奈良、2005年11月)
- ・靱山明「中國簡牘研究の現状」シンポジウム私見」(『木簡研究』27、奈良、2005年11月)
- ・石岡浩「書評 松崎つね子『睡虎地秦簡』」(『法史學研究會會報』10、東京、2005年12月)
- ・永田英正「張家山漢簡「二年律令」の字體についての所感」(『長江流域文化研究所年報』4、東京、2006年2月)
- ・富谷至「緒言—江陵張家山二四七號墓出土漢律によせて—」(『江陵張家山二四七號墓出土漢律令の研究—譯注篇—』、京都大學人文科學研究所研究報告、朋友書店、京都、2006年10月)
- ・大川俊隆「『二年律令』の文字學」(『大阪産業大學論集』(人文科學編)122、大東(大阪府)、2007年)
- ・池田雄一「呂后『二年律令』に接して(要旨)」(『日本秦漢史學會會報』9、東京、2008年12月)

### ● 文獻目録(專著)

- ・張小峰「2002-2003年國內張家山漢簡研究論著目録」(『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2004年3月29日)
- ・張小峰「2004年國內張家山漢簡研究論著目録」(『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2005年3月20日)
- ・張小峰「2002-2004年張家山漢簡『二年律令』研究論著目録」(中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月)
- ・高葉青・王樹金「張家山漢簡 [二四七號墓] 注釋索引」(『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2008年9月22日)

### ● 論文

#### (1) 学説史整理

- ・沈頌金「張家山漢墓竹簡研究述評」(同『二十世紀簡帛學研究』、學苑出版社、北京、2003年8月)

- 徐世虹「近年來『二年律令』與秦漢法律體系研究述評」（中國政法大學法律古籍整理研究所『中國古代法律文獻研究』3、中國政法大學出版社、北京、2007年1月）
- 靱山明「秦漢刑罰史研究の現状」（『中國史學』5、東京、1995年10月）
- 靱山明「秦漢刑罰史の研究現状—以刑期的爭論爲中心—」（中國政法大學法律古籍整理研究所『中國古代法律文獻研究』3、中國政法大學出版社、北京、2007年1月）
- 水間大輔「張家山漢簡「二年律令」による秦漢刑罰制度研究の動向」（『中國史學』14、東京、2004年9月）
- 宮宅潔「「二年律令」研究の射程—新出土法制史料と前漢文帝期研究の現状—」（『史林』89-1、京都、2006年1月）
- 石岡浩「出土法律文書と秦漢法制史研究」（『歴史評論』699、東京、2008年7月）

（2）－1．地位・身分（家族一般）

- 張建國「秦漢時一條珍奇的有關繼承權的律文」（『法學研究』1996-5、北京、1996年10月）
- 徐世虹「張家山二年律令簡所見漢代的繼承法」（『政法論壇（中國政法大學學報）』2002-5、北京、2002年10月）
- 李均明「張家山漢簡所見規範繼承關係的法律」（『中國歷史文物』2002-2、北京、2002年）
- 李均明「張家山漢簡「收律」與家族連坐」（『文物』2002-9、北京、2002年9月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
- [韓]尹在碩「睡虎地秦簡和張家山漢簡反映的秦漢時期後子制和家系繼承」（『中國歷史文物』2003-1、北京、2003年、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
- 臧知非「張家山漢簡所見西漢繼承制度初論」（『文史哲』2003-6、濟南、2003年11月）
- [韓]尹在碩「張家山漢簡所見的家庭犯罪及刑罰資料」（中國政法大學法律古籍整理研究所『中國古代法律文獻研究』2、中國政法大學出版社、北京、2004年6月）
- 沈剛「張家山漢簡『二年律令』所見漢初國家對基層社會的控制」（『學術月刊』2004-10、上海、2004年10月）
- 宋艷萍・趙根華「從張家山漢簡看漢初的老年政策」（『簡帛研究二〇〇二・二〇〇三』、廣西師範大學出版社、桂林、2005年6月）
- 張淑一「張家山漢簡所見漢代婚姻禁令」（『簡帛研究』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2006年2月25日）
- 李解民「漢代婚姻過程別類形態的法律依據」（『簡帛研究二〇〇四』、廣西師範大學出版社、桂林、2006年10月）
- 山田勝芳「鳩杖のゆくえ—東アジア老人優遇策—」（『東北大學東洋史論集』10、仙臺、2005年3月、「鳩杖與徭役制度」、『簡帛研究二〇〇四』、廣西師範大學出版社、桂林、

2006年10月)

- ・鷺尾祐子「漢初の戸について—《二年律令》を主な史料として—」(富谷至編『江陵張家山二四七號墓出土漢律令の研究』論考篇、京都大學人文科學研究所研究報告、朋友書店、京都、2006年10月)
- ・角谷常子「秦漢時代における家族の連坐について」(富谷至編『江陵張家山二四七號墓出土漢律令の研究 論考篇』、朋友書店、京都、2006年10月)
- ・飯尾秀幸「秦・前漢初期における里の内と外—牢獄成立前史—」(太田幸男・多田狷介編『中國前近代史論集』、汲古書院、東京、2007年12月)
- ・落合悠紀「漢「二年律令」における爵と戸の繼承—繼承予定者についての—考察—」(『法史學研究會會報』12、東京、2008年3月)

(2) - 2. 地位・身分(女性)

- ・[美]韓獻博著 李天虹譯『漢代遺囑所見女性・親戚關係和財產』(『簡帛研究二〇〇一』、下冊、廣西師範大學出版社、桂林、2001年9月)
- ・王子今「張家山漢簡「秩律」四「公主」說」(『陝西歷史博物館館刊』9、三秦出版社、西安、2002年7月)
- ・高凱「『二年律令』與漢代女性權益保護」(『光明日報』2002年11月5日、北京、2002年11月5日)
- ・王子今「「偏妻」「下妻」考—張家山漢簡『二年律令』研讀札記—」(『華學』6、紫禁城出版社、北京、2003年6月)
- ・王子今・范培松「張家山漢簡「賊律」「段大母」釋義」(『考古與文物』2003-5、西安、2003年)
- ・楊頡慧「張家山漢簡中「隸臣妾」身份探討」(『中原文物』2004-1、鄭州、2004年3月)
- ・張小鋒「釋張家山漢簡中的「御婢」」(『出土文獻研究』6、上海古籍出版社、上海、2004年12月、『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2005年11月25日)
- ・賈麗英「漢代有關女性犯罪問題論考—讀張家山漢簡札記—」(『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2005年12月17日)
- ・[加]葉山(Robin D. S. Yates)「卒・史與女性—戰國秦漢時期下層社會的讀寫能力—」(『簡帛』第三輯、上海古籍出版社、上海、2008年10月)
- ・池田夏樹「秦漢律における「老小廢疾婦人」と刑事責任」(『日本秦漢史學會會報』7、東京、2006年11月)
- ・池田雄一「張家山『二年律令』に見える妻の地位」(『响沫集』11、龍ヶ崎(千葉縣)、2004年3月、池田雄一「呂后『二年律令』に見える妻の地位」(池田雄一『中國古代の律令と社會』、汲古書院、東京、2008年3月所収)
- ・藤井律之「罪の「加減」と性差」(富谷至編『江陵張家山二四七號墓出土漢律令の研究 論考篇』、朋友書店、京都、2006年10月)

- 水間大輔「秦律・漢律における女子の犯罪に対する処罰」（記念論集刊行會編『福井重雅先生古稀・退職記念論集 古代東アジアの社會と文化』、汲古書院、東京、2007年3月）
- 柿沼陽平「戰國秦漢時代における布帛の流通と生産」（『日本秦漢史學會會報』9、東京、2008年12月）

(2) - 3. 地位・身分（女性以外）

- 李均明「張家山漢簡反映的二十等爵制」（『中國史研究』2002-2、北京、2002年5月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
- 李均明「張家山漢簡奴婢考」（『國際簡牘學會會刊』4、蘭臺出版社、臺北、2002年5月）
- 高敏「從『二年律令』看西漢前期的賜爵制度」（『文物』2002-9、北京、2002年9月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
- 朱紹侯「西漢初年軍功爵制的等級劃分—『二年律令』與軍功爵制研究之一」（『河南大學學報』（社會科學版）2002-5、開封、2002年9月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
- 朱紹侯「呂后二年賜田宅制度試探—『二年律令』與軍功爵制研究之二」（『史學月刊』2002-12、鄭州、2002年12月）
- 朱紹侯「從『二年律令』看與軍功爵制有關的三個問題—『二年律令』與軍功爵制研究之三」（『河南大學學報』（社會科學版）2003-1、開封、2003年1月）
- 朱紹侯「從『二年律令』看漢初二十級軍功爵制的價值—『二年律令』與軍功爵制研究之四」（『河南大學學報』（社會科學版）2003-2、開封、2003年3月）
- 閻步克「論張家山漢簡『二年律令』中的宦皇帝」（『中國史研究』2003-3、北京、2003年8月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
- 閻步克・中田和宏「張家山漢簡『二年律令』中の「宦皇帝」を論ず」（『研究論集（河合文化教育研究所）』1、名古屋、2005年9月）
- 王彥輝「從張家山漢簡看西漢時期私奴婢的社會地位」（『東北師大學報』（哲學社會科學版）2003-2、長春、2003年3月、『秦漢史論叢』9、三秦出版社、西安、2004年7月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
- 劉敏「張家山漢簡「小爵」臆釋」（『中國史研究』2004-3、北京、2004年8月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
- 于振波「張家山漢簡中的「卿」（『文物』2004-8、北京、2004年8月）
- 朱紅林「漢代「七十賜杖」制度及相關問題考辨—張家山漢簡「傳律」初探」（『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2005年8月24日）

- 臧知非「秦漢「傳籍」制度與社會結構的變遷—以張家山漢簡『二年律令』爲中心—」(『人文雜誌』2005-1、西安、2005年1月)
- 張榮強「『二年律令』與漢代課役身份」(『中國史研究』2005-2、北京、2005年5月)
- 王樹金「且看『二年律令』中的「卿」「卿侯」—兼與高敏先生商榷—」(『簡帛研究網』、<http://jianbo.sdu.edu.cn>、2005年4月24日)
- 張鶴泉「『二年律令』所見二十等爵對西漢初年國家統治秩序的影響」(『吉林師範大學學報』(人文社會科學版)2005-3、長春、2005年6月)
- 于振波「張家山漢簡中的卿爵」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2005年12月28日)
- 曹旅寧「張家山漢簡『二年律令』亡律中「親所知」的解釋」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2007年8月28日)
- 曹旅寧「釋「徒隸」兼論秦刑徒的身份及刑期問題」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2008年2月26日)
- 池田夏樹「戰國秦漢期における徒隸」(『帝京史學』、20、東京、2005年2月)
- 石岡浩「戰國秦の良民の「大」「小」區分と身長六尺」(『法史學研究會會報』11、東京、2007年2月)
- 石岡浩「前漢時代の売爵と刑罰免除」(記念論集刊行會編『福井重雅先生古稀・退職記念論集 古代東アジアの社會と文化』、汲古書院、東京、2007年3月)
- 鷲尾祐子「秦漢の軍功爵と民爵」(『日本秦漢史学会會報』8、東京、2007年11月)
- 好並隆司「張家山漢簡の律文における「宦皇帝」について」(『別府大學大學院紀要』5、別府、2003年3月、『前漢政治史研究』、研文出版、東京、2004年9月所收)
- 「張家山漢簡二年律令に見える爵制—「庶人」の理解を中心として—」(『鴨臺史學』6、東京、2006年3月)
- 宮宅潔「漢初の二十等爵制—民爵に附帶する特權とその繼承—」(富谷至編『江陵張家山二四七號墓出土漢律令の研究』論考篇、京都大學人文科學研究所研究報告、朋友書店、京都、2006年10月)
- 森谷一樹「皇帝に宦えるもの—張家山漢簡『二年律令』と典籍資料をてがかりに—」(『古代文化』60-2、京都、2008年9月)

(3) 法制度……家族研究に多少なりとも關係すると思われるもののみ独斷で配列

- 李均明「張家山漢簡所見規範人口管理的法律」(『政法論壇(中國政法大學學報)』2002-5、北京、2002年10月、中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』、廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月)
- 李均明「張家山漢簡所見刑罰等序及相關問題」(『華學』6、紫禁城出版社、北京、2003年6月)
- 李天虹「漢簡「致籍」考辨—讀張家山漢簡「津關令」札記—」(『文史』2004-2、北京、2004年5月)
- 楊振紅「從『二年律令』的性質看漢代法典的編纂修訂與律令關係(連載一)」(『簡帛網』、

- 武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006年1月6日)
- 楊振紅「從『二年律令』的性質看漢代法典的編纂修訂與律令關係(連載二)」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006年1月9日)
  - 廣瀨薰雄「張家山漢簡所謂「史律」中有關踐更之規定的探討」(『人文論叢』2004年卷、武漢大學出版社、武漢、2005年10月、『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2006年8月30日)
  - 邢義田「從張家山漢簡『二年律令』重論秦漢的刑期問題」(中國政法大學法律古籍整理研究所『中國古代法律文獻研究』3、中國政法大學出版社、北京、2007年1月)
  - 曹旅寧「『二年律令』中的二十八種律不存在二級分類」(『簡帛網』、武漢大學簡帛研究中心、<http://www.bsm.org.cn>、2007年10月4日)
  - 石岡浩「戰國秦の盜罪にみる刑罰加重の法則」(『中國出土資料研究』11、東京、2007年3月)
  - 富谷至「剝奪生命與處理尸體的刑罰」(中國政法大學法律古籍整理研究所『中國古代法律文獻研究』3、中國政法大學出版社、北京、2007年1月)
  - 水間大輔「張家山漢簡「二年律令」刑法雜考—睡虎地秦簡出土以降の秦漢刑法研究の再檢討一」(『中國出土資料研究』6、東京、2002年3月)
  - 水間大輔「秦律・漢律における殺人罪の類型—張家山漢簡「二年律令」を中心に—」(『史觀』148、東京、2003年3月)
  - 水間大輔「秦律・漢律における未遂・豫備・陰謀罪の處罰—張家山漢簡「二年律令」を中心に—」(『史學雜誌』113-1、東京、2004年1月)
  - 水間大輔「秦律・漢律における傷害罪の類型—張家山漢簡「二年律令」を中心に—」(『中國史研究』28、大邱、2004年2月)
  - 宮宅潔「秦漢刑罰體系形成史への一試論」(『東洋史研究』66-3、京都、2007年12月)

#### ●單著

- 趙化成·高崇文等『秦漢考古』(20世紀中國文物考古發現與研究叢書、文物出版社、北京、2002年3月)
- 錢存訓『書於竹帛』(上海書店出版社、上海、2002年4月)
- 李均明『古代簡牘』(20世紀中國文物考古發現與研究叢書、文物出版社、北京、2003年4月)
- 沈頌金『二十世紀簡帛學研究』(學苑出版社、北京、2003年8月)
- 林清源『簡牘帛書標題格式研究』(藝文印書館、臺北、2004年2月)
- 裘錫圭『中國出土古文獻十論』(復旦大學出版社、上海、2004年12月)
- 駢宇騫『簡帛文獻概述』(出土文獻譯注研析叢書21、萬卷樓、臺北、2005年4月)
- 張伯元『出土法律文獻研究』(商務印書館、北京、2005年6月)
- 曹旅寧『張家山漢律研究』(中華書局、北京、2005年8月)
- 朱紅林『張家山漢簡『二年律令』集釋』(吉林大學哲學社會科學學術文庫、社會科學文獻出版社、北京、2005年10月)

- ・駢宇騫・段書安編著『二十世紀出土簡帛綜述』（文物出版社、北京、2006年3月）
- ・劉欣寧『由張家山漢簡『二年律令』論漢初的繼承制度』（國立臺灣大學文史叢刊之一三三、國立臺灣大學出版委員會、臺北、2007年11月）
  
- ・飯尾秀幸『中國史のなかの家族』（世界史リブレット87、山川出版社、東京、2008年1月）
- ・榑山明『中國古代訴訟制度の研究』（京都大學學術出版會、京都、2006年2月）
- ・水間大輔『秦漢刑法研究』（知泉書館、東京、2007年12月）
- ・池田雄一『中國古代の律令と社會』（汲古書院、東京、2008年3月）
  
- 論文集（專論）
- ・中國社會科學院簡帛研究中心『張家山漢簡『二年律令』研究文集』（廣西師範大學出版社、桂林、2007年6月）
  
- ・富谷至編『江陵張家山二四七號墓出土漢律令の研究—論考篇一』（京都大學人文科學研究所研究報告、朋友書店、京都、2006年10月）